

# 流域治水プロジェクトの推進について

令和2年9月16日

東北地方整備局 岩手河川国道事務所

# 流域治水プロジェクトについて

## 【背景】

- 令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風をはじめ、平成30年7月豪雨や平成29年九州北部豪雨等、近年激甚な水害が頻発。
- さらに、今後、気候変動による降雨量の増大や水害の激甚化・頻発化が予測。
- このような水災害リスクの増大に備えるために、河川・下水道等の管理者が主体となって行う対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、その河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策、**『流域治水』への転換**を進めることが必要。

- 令和2年7月6日「国土交通省防災・減災対策本部（第2回）」が開催され、総力戦で挑む防災・減災プロジェクトの主要施策として、「あらゆる関係者により流域全体で行う『流域治水』への転換」が示された。

流域治水協議会

## 【目的】

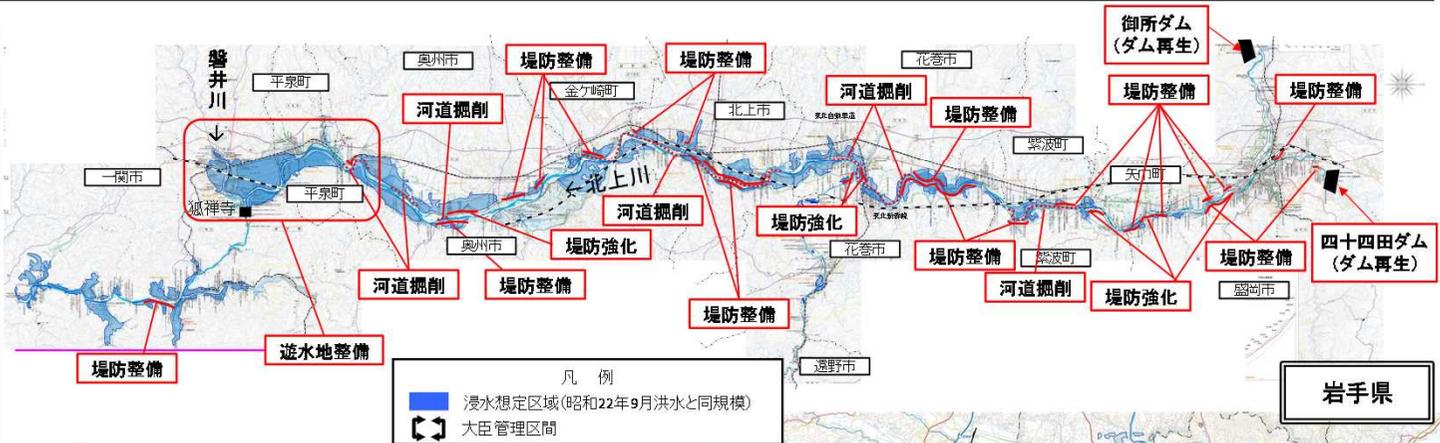
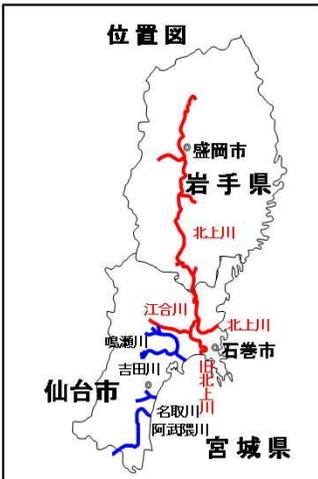
- 流域全体で早急に実施すべき流域治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表し、流域治水を計画的に推進

# 流域治水プロジェクトについて

## 北上川水系流域治水プロジェクト【素案】

～遊水機能を活かした治水対策の推進及び東日本大震災復旧復興事業の完遂～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が各地で発生したことを踏まえ、北上川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の昭和22年カスリン台風と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

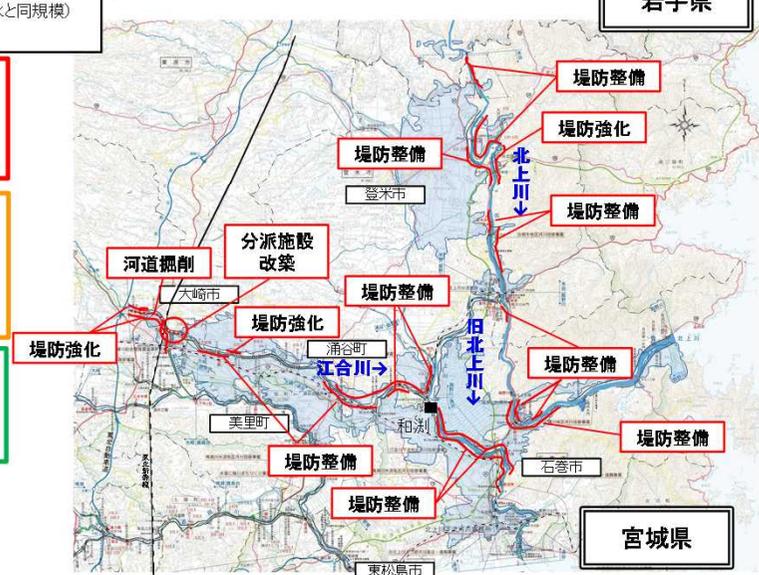


- 河川における対策**  
 国の対策内容 河道掘削、堤防整備、北上川上流ダム再生 等  
 ※今後、関係機関と連携し、都県管理区間の河川改修を追加予定
- 流域における対策のイメージ**  
 ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備  
 ・既存ダムの洪水調節機能の強化  
 ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等  
 ※今後、関係機関と連携し対策検討
- ソフト対策のイメージ**  
 ・水位計・監視カメラの設置  
 ・マイ・タイムラインの作成 等  
 ※今後、関係機関と連携し対策検討



S22.9洪水(カスリン台風)  
 死者・行方不明者242名、家屋流出2,065戸、  
 全半壊5,330戸、床上床下浸水67,572戸

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



# 協議会での実施事項と今後の進め方(案)

## 【実施事項】

- 流域治水の全体像の共有・検討。
- 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策をとりまとめ「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
- 流域治水プロジェクト」に基づく対策の実施状況のフォローアップ。 等

## 【今後の進め方(案)】

令和2年7月6日

北上川流域治水プロジェクト(素案) 公表

令和2年9月16日

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 設立

- ・協議会での実施事項、今後の進め方の確認、共有
- ・北上川上流域(岩手県内)の流域治水プロジェクト(中間とりまとめ案)の確認 等
- ※北上川下流域(宮城県内)の流域治水協議会は別途開催

令和2年9月末(予定)

北上川流域治水プロジェクト(中間とりまとめ) 公表

※北上川下流域(宮城県内)を含めた「流域治水プロジェクト(中間とりまとめ)」を公表

令和2年10月～令和3年2月

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会幹事会(適宜開催)

- ・「流域における対策」の具体的な施策検討(今後の方向性、目標、対策メニュー、対策候補地など)
- ・これまでの取組状況や流域治水対策等の共有

令和3年3月上旬～中旬頃(予定)

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

- ・「河川における対策」「流域における対策」「ソフト対策(避難・水防等に関する対策)」のとりまとめ
- ・北上川上流域(岩手県内)の流域治水プロジェクト(最終案)の確認 等

令和3年3月末(予定)

北上川流域治水プロジェクト(最終版) 公表

※北上川下流域(宮城県内)を含めた「流域治水プロジェクト」を公表

令和3年4月以降

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

- ・流域治水プロジェクトに基づく実施状況のフォローアップ
- ・「流域における対策」の追加・充実化